

北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部（以下、DEI推進本部）では、本学の教職員及び学生を対象に「ダイバーシティ&インクルージョンの認知・認識に関する基礎調査」を、2022年10月にオンラインで行いました。本稿ではその調査結果について報告します。

アンケート概要

実施期間：2022（令和4）年10月3日（月）～10月17日（月）
回答者数：1,105名（教員531名、職員423名、学生129名、その他22名）
回答方法：Webサイト（無記名式）
対象者：北海道大学の教職員、学生

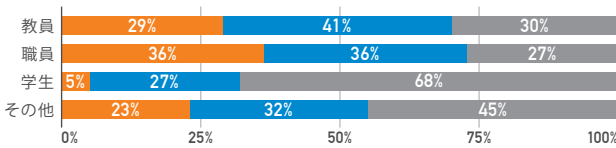
THEME

北海道大学

「ダイバーシティ&インクルージョンの認知・認識に関する基礎調査」報告

認知・認識に関する基礎調査

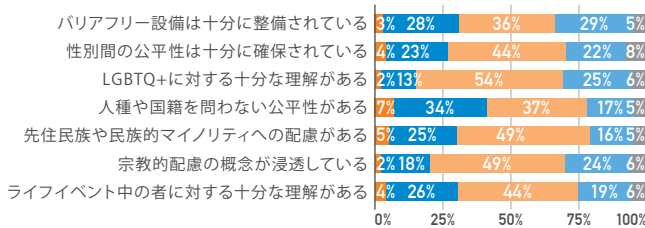
「北海道大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」についてどの程度知っていますか



2021年に公表した「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」は、教員、職員共に約7割の人が知っていましたが、内容まで知っているのは3割程度に留まりました。また、学生にはほぼ知られていないことがわかりました。

■ 公表したことを知っている、宣言文を読んだことがある ■ 公表したことを知っているが、宣言文を読んだことはない ■ 公表したことを知らない

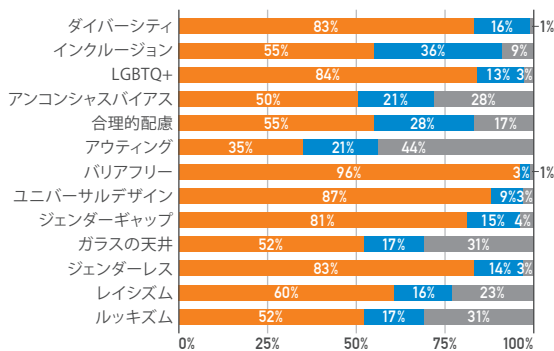
以下の各項目について、北海道大学全体を考えた時にどのような印象を持っていますか



本学のダイバーシティに関する印象では、「人種や国籍を問わない公平性がある」では「非常にそう思う・そう思う」が4割を超えていた一方、その他の項目は2～3割程度に留まりました。また、「あまり・全くそう思わない」という回答は、「バリアフリー設備の整備」「性別間の公平性」「LGBTQ+への理解」「宗教的配慮の概念の浸透」で約3割に達していました。

■ 非常にそう思う ■ そう思う ■ どちらとも言えない ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

次のそれぞれの言葉を聞いたことがあるか、意味を知っているか教えてください



「聞いたことがあり、意味を知っている」言葉としては、「ダイバーシティ」「LGBTQ+」「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」「ジェンダーギャップ」「ジェンダーレス」が8割を超えていました。一方で、「聞いたことがない・聞いたことがあるが、意味をよく知らない」で6割を超えて最も高かった「アウトティング」をはじめ、「アンコンシャスバイアス」や「レイシズム」など、ダイバーシティに関連する用語には人権に関わる言葉が多くあります。本学の全構成員が、言葉の意味や概念について理解を深められる機会を今後定期的に設けていく必要があると考えています。

以上の結果を踏まえ、DEI推進本部では関係部署等とともに課題等の改善に努め、構成員ひとりひとりが「人権と多様性の尊重」について考え、各々の能力を最大限に発揮し自らの可能性に挑戦できる環境の実現を目指し、ダイバーシティ推進に取り組んで参ります。調査でいただきましたご意見等は、今後の取組の参考とさせていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。

【アウトティング】とは？

セクシュアリティを本人の承諾なく第三者に暴露する行為を指します。自分のセクシュアリティを、自分の意思で誰かに伝えることをカミングアウトと言いますが、アウトティングは「勝手にバラす」ことです。個人のセクシュアリティは病歴や不妊治療等に並ぶ機微な個人情報であり、それらを本人の承諾なく第三者に暴露することは「個の侵害」型のパワハラに該当します。（中略）噂話もアウトティングとなる可能性があります。たとえ内容が事実ではない場合でも、この噂話をする行為自体に侮蔑的なニュアンスが含まれており、またセクシュアリティを詮索する意図があるからです。

【出典】

宮川直樹著、内田利監修『LGBTQの働き方をケアする本』、自由国民社、2022、p.48

WRITER

ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

特任助教 深谷 桃子

2006年より大学における男女共同参画、女性研究者支援、ダイバーシティ推進の取組に従事。北海道大学女性研究者支援室、沖縄科学技術大学院大学(OIST)ダイバーシティ・セクシオン、琉球大学ジェンダー協働推進室での勤務を経て、2023年4月より現職。



TOPIC
1

「TEDxSapporo Youth 2023」に、 DEI推進本部の長堀紀子特任教授が登壇

5月14日(日)に開催された「TEDxSapporo Youth 2023 ～といかけ～」に、DEI推進本部の長堀紀子特任教授が登壇しました。幼少期から感じてきたジェンダー不平等感やDEI推進本部での活動、またバイオベンチャーの起業を通じて考える「不利な立場の人のニーズが後回しにされる構造」や「構造を可視化することで議論の俎上に載せる」ことについて、経験談を元に会場にいるYouthたちに問いかけました。



出典元: TEDxSapporo Youth

TOPIC
2

レナード・バーンスタインの生きた世界と残したレガシー ～「第一部:PMFにみる世界と芸術」& 「第二部:LGBTQフレンドリーなまちづくり」～を開催

音楽家レナード・バーンスタインが1990年に創設したパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)は、世界三大教育音楽祭の一つとして今も発展を続けています。7月17日(月・祝)に開催した公開講座(DEI推進本部は第二部に協力)では、バーンスタインがその生涯を通して訴え続けた社会正義や世界平和を踏まえ、登壇者の体験や海外の事例紹介等を交えながら、性の多様性や平等性への理解について考え学ぶ機会としました。



COLUMN

THEME

「ハラスメント防止の意識」

YouTubeチャンネル:ハラスメント相談室

ハラスメントに関する相談対応だけでなく、北海道大学の構成員である皆さんに、ハラスメント防止の意識を持ってもらうための啓発活動や研修を行うことも、ハラスメント相談室の業務のひとつです。ハラスメントを受けた被害者が大きなダメージを受けることは、誰しもが容易に想像できることでしょう。被害者を生まないためにも、ハラスメントの防止に力を入れる必要があるということは、広く理解されているところかと思えます。加えて、ハラスメントがひとたび起こってしまうと、加害者とされた人や、組織全体にも、ダメージは広がっていきます。こうした観点からも、ハラスメントの予防に力を割くこと

は重要だと言えます。ひとりでも多くの構成員にハラスメント防止の意識を持ってもらえるよう、ハラスメント相談室では、各部署の要請に応じたハラスメント防止研修を行っている他、学生向けのハラスメント防止啓発動画を、YouTubeにて公開しています。また、今年の3月には、北海道大学出版会より『大学のハラスメント相談室—ハラスメントと向き合うすべての人へ』という書籍も出版していますので、興味のある方はぜひ、お手に取ってみてください。

WRITER

ハラスメント相談室 専門相談員 公認心理師・臨床心理士 柿崎真実子

ハラスメントとは
【学生編】



動画▶

ハラスメント相談室とは
【学生編】



動画▶

募集中!

ダイバーシティ・インクルージョン推進 に向けた部局等による取組支援プログラム

支援内容:旅費・謝金等 上限 **15**万円

PIを目指す女性研究者による研究会等開催支援

支援内容:旅費・謝金等 上限 **20**万円

詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください▶▶▶

申請締切
11/30

CONTACT US



北海道大学
ダイバーシティ・
インクルージョン推進本部
Office of Diversity, Equity,
and Inclusion



公式ウェブサイト
www.dei.hokudai.ac.jp

〒060-0812
札幌市北区北12条西7丁目
北海道大学
中央キャンパス総合研究棟1号館1階

TEL — 011-706-3625
Email — office@dei.hokudai.ac.jp